

南海放送

活動名	新幹線の父「十河信二」伝記読み聞かせ
実施期間	令和6年11月18日
実施回数	会場1回

【事業実施の成果・課題】

自分たちが暮らす地域出身の偉人の物語とあって、児童たちは非常に興味を持って聞いてくれました。また、子どもたちの集中力が持つ長さを10分程度と考え、物語のブロックを10分以内と設定。そのブロックの内容に関するクイズを作成し、実施しました。「今から読む内容に関するクイズがある」ということを事前に知らせておくことで、より伝記の内容を理解しようという意識が高くなったと感じました。実際にクイズにも積極的に手を挙げて答えてくれました。授業の感想からも、地域に関する偉人への関心や、その生き方、信念などをしっかり受け止めてくれた様子が伺えます。

【事業担当者およびアナウンサー（講師・読み手）の感想】

<佐伯りさアナウンサー>

70ページほどの伝記の中から十河信二の生き方を方向付けるポイントとなる場面を抜粋し、授業時間内に収めることに苦労しました。また、特に子どもたちに印象付けたい言葉や考えについて、クイズで出題するなどの工夫をしたところ、授業では児童たちが非常に熱心に耳を傾けてくれ、アナウンサー陣の読み聞かせにも熱が入りました。子どもたちや先生方と直接触れ合うことで、普段の放送活動への関心も高めてもらえる、良い機会となりました。

<小川貴弘アナウンサー>

児童の皆さんが積極的に参加してくれたおかげで、より充実した時間になりました。また、途中のクイズやインタビューでもたくさん手が上がり、皆さんの発想力の豊かさと自己表現力の高さに驚きました。『自分の地元には偉大な偉人がいる』ということ、読み聞かせを通してより親しみを持ってきていれたいです。私自身、初めての学校での読み聞かせは、読むスピードや表現の幅など、今後のアナウンスメントにも生きるものが多くありました。

<松友杏樹アナウンサー>

難しい言葉もたくさん出てきましたが、地元の偉人の人生の物語に一生懸命耳を傾けてくれた姿に感動しました。朗読の間に設けたクイズコーナーや感想を発表する際に、積極的に手が挙がっていたのも印象的でした。生徒たちが聞いている姿勢や表情から、どういう風に読んだら理解してもらえるかな？伝わりやすいかな？と朗読しながら学ばせていただきました。ありがとうございました。

【教諭・保育士・子どもたち・視聴者などの感想】

＜栗田教諭＞

- ・子どもたちが最後まで聞き入っている姿に、声の持つ力の大きさ、すばらしさを感じました。
- ・心が弱く、どうしても自分の行為に対する見返りを求めがちで、思いが通じないときは腹を立ててしまい、少しでも楽な仕事を選ぼうとしてしまいますが、これからは十河信二の言葉を思い出して自分の行動を振り返り、少しでも人の役に立てるように取り組んでいきたいと思いました。

＜加藤教諭＞

「人の嫌がる仕事をする」「むくいをうけない」という言葉に私自身はっとさせられ、今の自分はどうかと考えさせられました。私自身これから、周りの人のことを考え、自分の仕事に責任と誇りを持ち続け、今の教員という仕事を続けていきたいと思いました。

＜石塚教諭＞

- ・私は新居浜出身でありながら十河信二さんについてあまり知りませんでした。今回、貴重なお話を聞くことができ、大変勉強になりました。
- ・南海放送のアナウンサーのお三方の声はとても聞き取りやすく、いつもは聞く姿勢が崩れがちなこどもの背筋が伸びているのを見て、人を引き付ける話し方というものを勉強させていただきました。

＜子どもたちの感想＞

- ・人がいやがることを自分から進んで取り組んでいて、とてもすごいと思いました。わたしは、十河信二さんみたいになりたいです。
- ・「人にお世話にならない」「人のむくいをうけない」という思い。私はそんなこと思ったこともなかったので、「まねしてみよう」と思いました。
- ・何一つ見返りを求めずに仕事を引き受けるなんてすごいと思ったし、自分にきびしいんだろうなと思いました。
- ・一番心に残った言葉は、人の一番いやな仕事をするという言葉で、すばらしいと思いました。だれかががんばったから、この今があることがわかりました。
- ・最初は十河信二さんのことがあまり知らなかったけれど、一時間の間にたくさんまなべました。
- ・私たちの先輩である十河信二さんのすごさがあらためて分かりました。とくにすごいと思ったことは、自分の意思を相手にしっかりと伝えていることや、自分の命がある間は、まわりの人達のために動いていたことです。
- ・今回ろう読してくれた人がすごく読むのが上手で、さすがげんえきアナウンサーさんだなと思いました。読んでいるときの顔を見てたら口をしっかりと大きく開いてろう読していたのもすごいなと思いました。
- ・「有法子（ユーファーズ）」という言葉は中国語で、意味は「できないことはない」です。この言葉はとても心に残りました。